# 多賀城市自殺対策計画
# 推進状況について

## ～評価指標の状況～

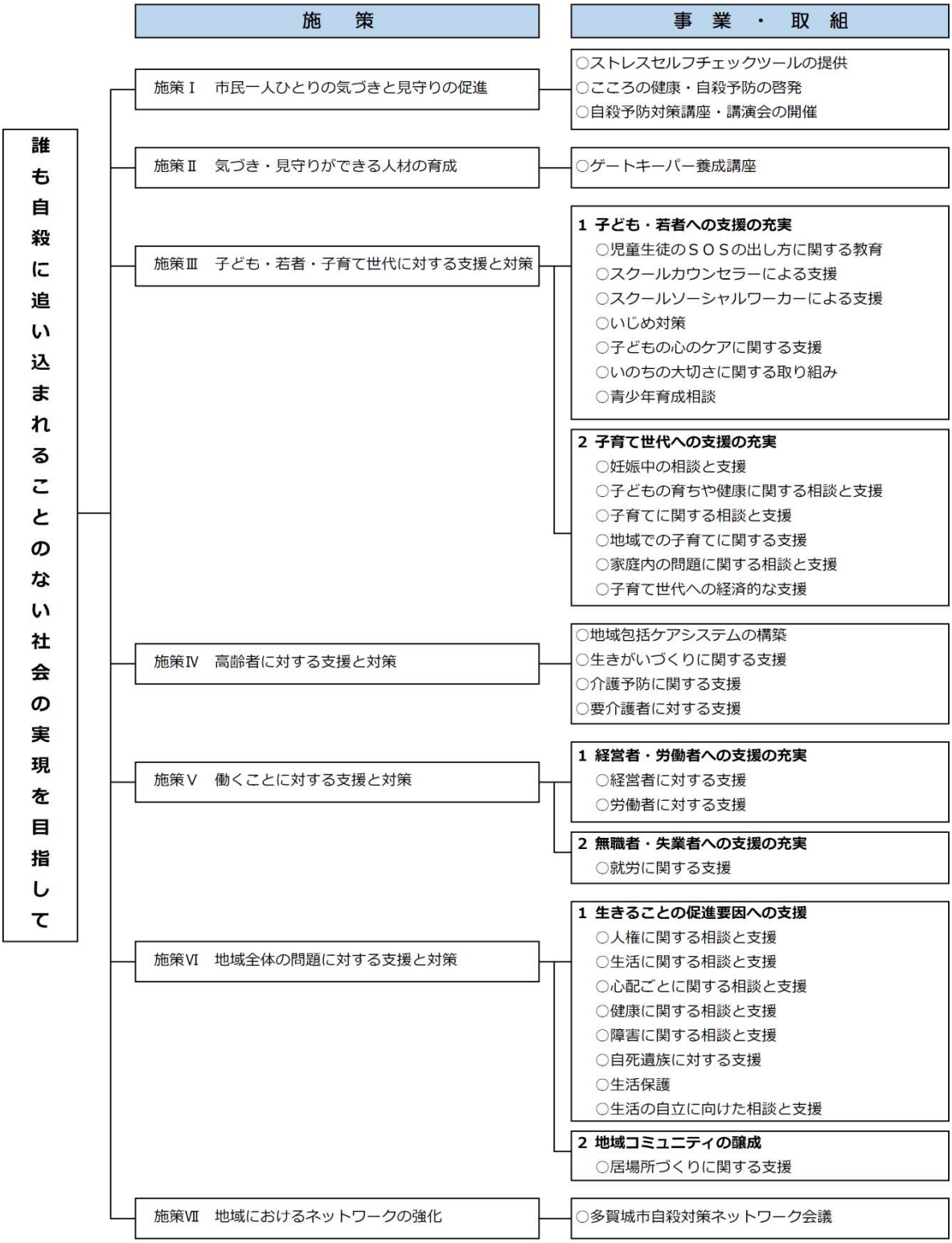
多賀城市自殺対策ネットワーク会議資料

令和６年１月２４日

## 1　計画の基本理念と施策の体系

国が自殺総合対策の基本理念として掲げる**「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して」**を計画の基本理念とし、その実現に向け次のとおり自殺対策に取り組みます。

また、計画の取り組み状況がわかるように、施策ごとに評価指標を設定します。



## 2　施策ごとの評価指標の動向

### 施策Ⅰ　市民一人ひとりの気づきと見守りの促進

自分自身の体調の変化を知る事や周囲の人の変化に気づくといった市民一人ひとりの気づき、また、危機に陥った時には誰かに援助を求めることが大切であるということの理解を促進する等、様々な機会を通じてメンタルヘルス対策を行っていきます。

**【評価指標】**　　**指標の動き：令和3年度と令和4年度の実績値を比較**

| 指　標 | 指標の動きの基準 | 目　標 | 実績値 | | | 指標の動き |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | |
| こころの体温計アクセス数 | 上がると良い | 7,500件/年 | 7,364件 | 6,003件 | 7,413件 | ⇗ |
| 自殺予防に関する啓発回数 | 上がると良い | 年2回以上 | 3回/年 | 5回/年 | 4回/年 | ⇘ |
| 講座・講演会の開催数 | 維持できると良い | 年1回以上 | 1回/年 | 0回/年 | 1回/年 | ⇗ |

### 施策Ⅱ　気づき・見守りができる人材の育成

自殺対策には、様々な悩みや生活上の困難を抱える人に対して早期の「気づき」が重要となります。

ゲートキーパー養成講座では、自殺のリスクを理解し、必要に応じて専門の相談窓口につなぐことのできる人材を養成することを目的に、日ごろ市民と接する機会の多い方を中心にゲートキーパー養成講座を実施し、担い手の育成を行っていきます。

**【評価指標】**

| 指　標 | 指標の動きの基準 | 目　標 | 実績値 | | | 指標の動き |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | |
| ゲートキーパー養成講座開催数 | 維持できると良い | 年１回以上 | 1回/年 | 5回/年 | 4回/年 | ⇘ |

## 施策Ⅲ　子ども・若者・子育て世代に対する支援と対策

子ども・若者・子育て世代への支援は、年齢や環境によって異なることから、それぞれの場に応じた対応が求められます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、人との交流の機会に制限がかけられ、大人だけでなく、子どもにとっても様々な影響があります。抱える悩みは多様であり、各分野の関係機関と連携し、対象者の状況に合わせた支援を行っていきます。

**【評価指標】**

| 指　標 | 指標の動きの基準 | 目　標 | 実績値 | | | 指標の動き |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | |
| 中学生の不登校生徒の出現率 | 下がると良い | 出現率の低下 | 4.2% | 5.6% | 7.1% | ⇨ |
| いじめ解消率 | 上がると良い | 解消率の増加 | 67.6% | 43.7% | 60.4% | ⇗ |
| 児童生徒の学級生活満足群の割合 | 上がると良い | 割合の増加 | 58.9% | 50.2% | 46.6% | ⇨ |
| 要保護児童対策地域協議会実務者会議における要保護児童終結率 | 上がると良い | 終結率の増加 | 41.9% | 34.2% | 20.5% | ⇨ |
| 出産後の支援について満足している者の割合 | 上がると良い | 割合の増加 | 82.7% | 83.1% | 82.0% | ⇨ |

## 施策Ⅳ　高齢者に対する支援と対策

高齢者は、退職による生活環境の変化、加齢による体調の変化や体力の低下などにより閉じこもりや抑うつ状態になりやすく、孤独・孤立に陥りやすい状況にあります。高齢者特有の課題を踏まえつつ、多様な背景や価値観に対応した支援、地域による支えあいの仕組みづくりや社会参加の促進を図っていきます。

**【評価指標】**

| 指　標 | 指標の動きの基準 | 目　標 | 実績値 | | | 指標の動き |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | |
| 認知症サポーターの人数 | 上がると良い | サポーターの増加 | 3,662人 | 3,825人 | 4,016人 | ⇗ |
| 介護予防サポーターの人数 | 上がると良い | サポーターの増加 | 128人 | 124人 | 100人 | ⇨ |
| 介護支援ボランティアの人数 | 上がると良い | ボランティアの増加 | 125人 | 121人 | 117人 | ⇨ |

## 施策Ⅴ　働くことに対する支援と対策

失業や無職者は社会から孤立しやすく、自殺のリスクが高まる傾向があります。

雇用の場を確保するとともに、長期失業に陥らないよう、就労支援を行っていきます。

**【評価指標】**

| 指　標 | 指標の動きの基準 | 目　標 | 実績値 | | | 指標の動き |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | |
| 職業相談に係る就職者数（市民） | 上がると良い | 就職者数の増加 | 276人 | 372人 | 224人 | ⇨ |

## 施策Ⅵ　地域全体の問題に対する支援と対策

自殺対策は、個人においても社会においても、「生きることの阻害要因」を減らし、「生きることの促進要因」を増やす取り組みが必要です。

自殺のリスクを低下させるために、保健・福祉をはじめ様々な分野において、相談・支援体制の充実や各種サービスの利用について情報を発信するとともに、コミュニティの醸成を図り、孤立を防ぐための取り組みを行っていきます。

**【評価指標】**

| 指　標 | 指標の動きの基準 | 目　標 | 実績値 | | | 指標の動き |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | |
| 男女共同、性的少数者及び障害者の差別解消に関する啓発回数 | 上がると良い | 啓発回数の増加 | 5回/年 | 3回/年 | 2回/年 | ⇨ |
| 生活相談により相談者の課題が解決した件数 | 上がると良い | 解決件数の増加 | 223件/年 | 432件/年 | 338件/年 | ⇨ |
| 市民活動促進事業の開催数 | 上がると良い | 開催数の増加 | 34回/年 | 40回/年 | 48回/年 | ⇗ |

## 施策Ⅶ　地域におけるネットワークの強化

関係機関が連携・協働して自殺対策を総合的に推進するため、多賀城市自殺対策ネットワーク会議において、様々な分野の生きる支援にあたる関係者が、それぞれ自殺対策の一翼を担っているという意識を共有するとともに、横の連携を深め、適切な支援につなぐことのできる支援体制を整えていきます。

**【評価指標】**

| 指　標 | 指標の動きの基準 | 目　標 | 実績値 | | | 指標の動き |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | R2年度 | R3年度 | R4年度 | |
| ネットワーク会議の開催回数 | 維持できると良い | 年１回以上 | 1回/年 | 1回/年 | １回/年 | ⇨ |